



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674

電話 0575-79-2914

FAX 0575-79-3584



お詫び

毎年 5 月に予定されている「苑祭がらくた市」ですが、敷地内工事中につき安全性の確保等考慮し、今年度はお休みさせて頂くことになりました。楽しみにして頂いていた方も多く、苦渋の決断でした。本当に申し訳ございません。来年度は開催させて頂きたいと存じますので、引き続きのご支援とご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

「創設者の理念」

合掌苑 苑長 成澤 武史

平成 29 年度、また新たな年度を迎えることが出来ました。4 月入所児童 31 名でスタート、みな進級し、また一つ成長したことを喜んでおります。3 月で卒苑していった 3 名の子も 2 名就職、専門校への進学が 1 名と自立に向かって巣立ちました。3 名中 2 名が幼児から苑で生活してきた子なので、喜びと寂しさと不安をお互い感じているでしょう。施設で生活した子に限った話ではないかもしれませんが、巣立って初めにぶつかる壁は「寂しさ」。その壁をどう乗り越えるかがその後に繋がると言っても過言でないと今までの卒苑生を見ても思うのです。近年はアフターケアにも重きを置いています。その子らしく社会で生きて行ってほしい、そのためには何が必要か、と常に考えています。

さて、最近では世界情勢も目まぐるしく変化し、近隣諸国の動き、難民問題など今まで私たちが当たり前にしてきた「平和」が脅かされる事態やニュースが毎日のように聞かれます。私は戦前の生まれでもありませんし、その道の専門家でもありませんが、福祉の仕事に携わる者として、「人がどのように尊重し合いながら共存していくか」ということが課題なのではないかと感じています。当苑でも他人と一緒に生活をしています。子ども達にどう生活をしていくかを教える場でもあります。子ども達も誰と同じ部屋・棟がいいというよりは、あの子と生活したくない、あの子と違う部屋がいい、といった排除論が先行しがちです。

国同士も話し合いでうまくいかないから今の情勢になっていることは理解していますが、「平和」は当たり前にあつたものでなく、先人達が作り上げ、守ってきてくれたものなのだと思われがちで生活が脅かされて気付かされているのかもしれませんが。歴史は繰り返されると聞いたことがあります。後世の子ども達に何を残すのかを考えなければならない、子ども達に暴力で物事は解決してはいけないと教えている立場です。戦争などあつてはならない、そう認識し、今一度、戦争を知らない私たちが平和はお互いの努力によって保たれてきたことを再認識し、自分達だけが良くなればいいのではないのだと子ども達に話し、自分で振り返っています。

今後も創設者の教えを大切に、分かり合い・助け合い・磨き合う、お互いに健やかに成長し合う養護を展開していきたいと日々願っています。

先生に聞いてみました！

合掌苑の先生は普段どんなお仕事をしているの？どんな苦労があるの？そんな素朴な疑問や興味にお答えしようと思い、心理士兼調査員の田口がインタビューをしてみようというコーナーです。第5回は建物備品係のリーダー 辻リーダーにお話を伺いました。

田口 お忙しいところありがとうございます。今回は建物・備品係についてです。お願いします！

辻 はい、よろしくをお願いします。

田口 早速ですが、建物・備品係の仕事とは何ですか？

辻 公用車の管理、倉庫の物品の管理、建物の一般的な修理…とたくさん（笑）

田口 たくさんある…その中でもメインになるものはありますか？

辻 メインか…修理が多いのかな。壊れた物の修理。個人のものではなく、苑の物品の修理や管理ですね。

田口 修理が多いということで、技術が必要とされて大変なことに思うのですが、どうでしょう？

辻 うーん、確かに最初は大変ですけど、やれば自分のスキルにもなりますし、その辺はやりがいにもなると思いますよ。それに修理と言っても、特別なことはできないから日曜大工のようなことですし。

田口 日曜大工と聞くと、随分と生活に近くなったように聞こえますね。

辻 はい。色々な係があるけれど、僕らの係はどの仕事にもちょっとずつ足を突っ込んでいるような気がしますよ。他の係が管理しているものを直すとなると、そういうことになるのかなと。本棚とかたんすとかね。

田口 なんでも屋さんそうですね。

辻 （笑）用務員さんみたいかも。普段から苑全体を見る必要がありますよね。ふとんがふとんでたら取りに行くし（笑）

田口 （笑）そうすると、日常に仕事があるような感じですか？

辻 そうですね。日常的に仕事はあって、ある意味でとても子どもたちの生活に密着していますね。

田口 なるほど。建物・備品係と名前を聞くと、とても大きい仕事で苑全体のことのようにも感じますが、しっかりと子どもの生活を身近で支える仕事であるように感じました。これからも、生活に身近ななんでも屋さんとして合掌苑をお願いします。ありがとうございました！

今回は辻リーダーにお話を伺いました。修理が必要な建物の一部や物品を修理し、色々なところでの要望に応えられるようにしており、建物や物品というところから子どもたちの日常の生活をしっかり支えています。歴史のある合掌苑の建物を、これからもよろしくお願いします。

ご協力ありがとうございました。

これが合掌苑の本館です。
福祉館、かやのみ館の2つの棟とともに、綺麗に保たれています。



平成 29 年度 担当紹介

平成 26 年度より合掌苑では、より家庭的な小規模養育を目指して、小規模棟 2 棟（各 1 担当）と本体施設 1 棟（2 担当）でのグループケアを行っており、各担当 6～11 人の子どもたちが生活しています。ここでは、平成 29 年度各担当とその職員の紹介をしたいと思います。

かやのみ館担当の紹介



かやのみ館が小規模棟となって、4 度目の春が来ました。3 月にはかやのみ館で高校生活を送った女の子 3 人が、専門学校進学、および就職へと無事旅立っていきました。10 日間程子ども 4 人の寂しい生活でしたが、4 月から小学校低学年の女兒 2 人が入ったので、元気さも賑やかさも倍になりました。現在は、小 2～高 2 の計 6 人の子どもと、宿直職員 1 人（交代 3 人）の 7 人が常時生活しています。高校生が多かった時は、部活の送迎や進路を考えることが仕事でしたが、今は細かい日々の支援、宿題等に一日中追われています。でもこの子達も、今に大きくなってここを巣立って行くでしょう。そんな子達に、私達は一体何ができるのか、何をしてあげればいいのか、いつも悩みます。しかしながら私達に出来る事は、当たり前な事を当たり前にしてあげる事だけだと思います。なんて言っている間に「ちゃんと茶碗は手に持って食べてね」と、今日も口うるさい一日が始まります。

福祉館担当の紹介

今年度の福祉館は、子ども職員ともにメンバーが変わりませんでした。メンバーに変化がなかった分、苑生活・学校生活の充実や、子ども達ひとりひとりへの支援など、さらに深めていく 1 年になりそうです。新年度を迎え、進級・進学など子どもたちの日々の変化に置いていかれることなく、思春期の大切な時期にしっかりと寄り添えるよう、福祉館職員一同、力いっぱい支援していきたいと思います。そんな福祉館は、六人の子ども達と、それぞれ特徴的でパワフルな職員 3 名で、今年も楽しく過ごしていきたいと思います。年齢も一番下が中学 3 年生で、男ばかりのむさ苦しくも一緒に楽しめる福祉館をよろしく願います！



本館担当の紹介



A 担当

本館は、A担当児童（幼児から小3）8人とB担当児童（小4から中3）11人の2つのグループ、全19名でスタートしました。合掌苑の中では大人数で年齢差のある子どもたちが暮らす担当ですので多少まとまりにくいところもありますが、その分毎日受ける刺激も多く、元気で活発な担当といえます。食事の時などは全員が食堂に集まることもあり小中学生の子どもたちが幼児のお世話をする姿がみられたりする暖かい担当です。本館

担当では子どもと職員が互いに認め合い、子どもにとって担当職員が身近で信頼できる存在となることを目指しています。子どもたちと一緒に過ごす時間を大切にしながら、子どもたちが安心して生活できるよう日々援助していきます。よろしくお願いいたします。



B 担当

事務担当

平成28年度から、FSW（家庭支援専門相談員）が2名配置となり、在苑児童の家庭との連絡調整のために動いています。また、書記、栄養士、調理員、里親支援専門相談員、職業相談員、心理士、等、各専門職が在職しており、日々の児童職員の生活のサポートを行っています。

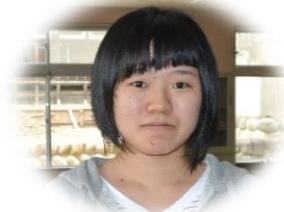
さらに、合掌苑で働く職員が今年度から新たに2名増えました。自己紹介とやる気のこもった抱負を掲載いたします。勤続の職員ともどもこれからよろしくお願いいたします。



昨年度1月より合掌苑の職員となりました、和田翔太です。
以前は保育士として保育園で働いていました。これまでの経験を生かし、子ども達が安心して楽しく生活できる場になるように努めていきたいと思えます。音楽や絵を描くことなどが好きなので、そういった楽しさも子ども達と共有して行けたらと思っています。よろしくお願いいたします。

新しく栄養士として入りました、後藤紗菜です。

栄養バランスや彩りに気を配った食事や子供たちが楽しいと思ってもらえる食事時間を提供できるような食事の考案・調理ができるように努力していきたいと思えます。初めてのことばかりで至らないところも多くあると思えますが、よろしくお願いいたします。



本館児童トイレの改修

岐阜県
愛のともしび基金

平成 28 年度、補助金事業としてトイレが改修されました。本館 1 階の幼児トイレ・2 階の女子トイレ・男子トイレが完成しました。写真のように、色鮮やかで明るくかわいいトイレとなりました。

子どもたちも、暖かい便座、綺麗になったトイレに大喜びでした。トイレトレーニング中の幼児も、自分からオムツを取ってトイレに行くようになりました。床はフラットになっており足が不自由な方でも移動しやすくなっています。以前と同じ空間の中での工事とは思えない程の素晴らしい仕上がりです。

トイレ改修は、子どもも職員も待ちに待った事業です。本当に、ありがとうございました。皆で、きれいに大切に使用していきたいと思います。

幼児トイレ

男子トイレ

女子トイレ

小さい便器で、
幼児さんにも使いやすい！

平成 29 年度 苑祭「がらくた市」中止のご案内

紙面冒頭でもお知らせいたしましたが、毎年 5 月開催の苑祭「がらくた市」ですが、今年は敷地内の工事が重なり、出店場所や駐車場の確保、および安全性の確保が困難な状況が予想されております。そこで、誠に残念ではございますが、平成 29 年の苑祭「がらくた市」の開催を見合わせることになりました。楽しみにしていただいております皆様方には、大変申し訳なく思っております。

苑祭「がらくた市」は、地域の皆様方、日ごろからお世話になっている皆様方に御来苑いただき交流を深める、施設にとっても大切なイベントとして位置付けております。そこで、今回の見合わせを充電期間と考え、今後の「がらくた市」がより素晴らしいものになるよう、精一杯の精進を重ねる所存でございます。何卒、今後とも変わらぬご指導ご支援のほどをお願い申し上げます。



「温かい心」 (平成 29 年 1 月～平成 29 年 4 月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

NAGARA青果	秋月 さと子	アサヒ飲料株式会社		一柳 隆男
一柳 芳之	内海哲也ランドセル基金		エイセブプラス(株)	延寿寺
大前 正行	小椋 千秋	小沢 三夫	岐阜県教育文化財団	
纈纈 隆男	合同会社文屋	坂祝町民生委員児童委員協議会		品川 昌彦
タイガーマスクトリオ		大容スポーツ	武山 忠男	田代 美子
千葉 道枝	地方紙正月連合企画係		土屋 増信	トヨタL&F中部(株)
中野 良雄	中邑 万有美	長屋 良子	二宮 春美	丹羽 孝文
のだみつ花店	則次 克巳	羽田野 宗雄	古川 直	マルコメ株式会社
明宝ツーリズムネットワークセンター		森本 利根	山中 徹志	わさび屋(株)
有限会社ダスカジャパン		(株)TESMO	(株)大垣共立銀行	(株)高垣組
(株)テンポアップ	(株)のだみつ花店	(株)まつもと塗料店		

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。



< 後援会「友の会」について >

- ・親と一緒に暮らせない子どもであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
- ・会費 3, 0 0 0 円、皆様のお力添えをお願い致します。
- ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。

< 平成 2 8 年度友の会 会計報告 >

入金額 7 8, 3 7 6 円 (平成 2 9 年 3 月 3 1 日現在)

☆ 友の会としてご入金いただいたお金は、合掌苑 施設会計に寄付金として計上し、子ども達の生活に役立させていただきます。今後とも皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

編集後記

青々とした緑がきれいな季節となりました。皆さま、お変わりありませんか？紙面でお知らせしたように、今年度は“がらくた市”がありません。子どもたちも楽しみにしていた一大行事ですので、それに代わる何かを…と考え、以前から要望が出ていた“遊園地”へお出かけをすることになりました。それを聞いた子どもたちからは、「一緒に回ろう！」、「洋服はどれにしよう？」と喜ぶ声が聞こえ、子どもたちとの思い出もまた一つ増えそうです。暑くなってきたので、熱中症に気を付けて回ります。皆様もご自愛ください。

合掌苑だよりのご意見・ご感想も随時お待ちしておりますので合掌苑ホームページのお問合せフォームか、Eメールよりご連絡いただければ幸いです。今後とも合掌苑をよろしくお願い致します。